

空きショーケースの停止

運用
改善

メンテ
ナンス

チュー
ニング

設備
更新

- 商品が入っていない冷蔵ショーケースの運転を停止することで、節電になります。

試算例

空きショーケースの運転停止をすると...
(売場面積2,000m²相当のスーパーの事例)

■ 節電効果 : **節電効果 7万円/年** 【業務用電力単価を適用】
節電電力 約 1.2kW
節電電力量 約 4,300kWh

■ 対策内容 : 空きショーケース運転停止 (鮮魚用2台分)

■ 計算式 : 節電電力(kW) = 消費電力(対象設備分) × 対象台数 × 負荷率
節電電力量(kWh) = 節電電力 × 対象時間 × 対象日数

(試算条件)

消費電力(対象設備分): 1.5kW/台 [ショーケース(平型)]

対象台数: 2台

負荷率: 40%(仮定)

対象時間: 10時間/日(10:00~20:00)

対象日数: 365日/年

ポイント

- 庫内の商品が少ない場合、商品を別のショーケースに集約し、ショーケースを停止させることで、更に節電となります。
- 多段型ショーケースは冷気漏れが多いため、商品を冷気漏れの少ない平型ショーケースに集約することで、更に節電になります。
- バックヤードの冷蔵庫の場合も、運転台数を限定させることで節電となります。

参考



空きショーケース



商品の少ないショーケース